

位置情報	N o 30	名称：	旧折尾高架橋	開業：	大正3年(1914)
路線名：	北九州線	起点側駅	折尾東口電停 東	緯度＝	33° 51' 47.0" N
銘板：	無し	終点側駅	折尾電停 西	経度＝	130° 42' 48.4" E
住所：	北九州市八幡西区南鷹見町13	中心キロ程＝	29.4	km(折尾駅)	
調査日	2.2及び2.17	ねじり形状 (理論値 $\tan \beta = 2 / (\pi \cdot \tan \theta)$)			
平面形状	線路からの傾き方向 右	起拱角 β	実測値＝	15°	
正径間 W＝	6.12 m	////// $\angle \beta$	理論値＝	11°	
斜径間 a＝	6.40 m				
延長 L＝	13.42 m				
坑門角 α ＝	73° (sin $\alpha = W/a$)				
斜架角 θ ＝	73°	坑門角(実測値)を採用。文献2)「鉄道と煉瓦」では75°			
断面形状	欠円	付属構造物			
全高 H＝	4.07 m				
側壁高 h_1 ＝	2.14 m	インバート深 d＝無し			
アーチ高 h_2 ＝	1.93 m				
煉瓦形状		利用目的・状況			
長手延長＝		道路			
小口幅＝					
小口高＝					
デザイン					
端面・形状：	面一	巻数	5 巻	その他	
アーチ部：	長手積み(Bs)	要石：無し			
側壁：	イギリス積(Be) 33段	迫受石：有り 端面のみ			
坑門：	イギリス積(Be)	帯石：無し			
控え柱：	無し	笠石：有り			
パラペット：	イギリス積(Be)	扁額：無し			
備考					
<p>1. 断面は欠円であり、例は少ない。</p> <p>2. 正径間は6.12mと現存する中では一番、斜径間は6.40mと二番目の長さ。(実測で樺坂橋梁と同じ)</p> <p>3. 端面部にのみ迫受石がある。</p> <p>4. β (起拱角)はθ (斜架角)から求める理論値より少し大きい。 ちなみに文献2)の$\theta = 75^\circ$を採用すると、$\beta = 9.7^\circ$となり実測値と大きく違う。</p> <p>5. 三連橋の一橋のみが「ねじりまんぼ」という例のない構造。</p>					
断面概要図			平面概要図		